

西日本新聞・令和2年3月13日

## 知的・精神障害者も対象

## 福岡市20年度正規職員採用

福岡市は12日、2020年度に実施する正規職員の採用試験で、これまで身体障害者に限定していた障害者枠を知的障害と精神障害にも拡大する方針を明らかにした。市は主に知的、精神障害がある人を非正規の嘱託員として採用する制度を続けているが、正規採用にも門戸を広げる。

市は19年度、身体障害がある人を対象に区役所や市立学校などで戸籍、市税、授業料に関する事務を担う正規職員4人を募集。筆記試験と面接で選考した。20年度の試験方式や募集人数は検討中だが、同様の事務に当たる職員を募集する方

針。市は「障害特性に応じた配慮を施し、多くの人が試験を受けやすいように準備したい」としている。

昨年6月現在の福岡市職員のうちの障害者雇用率は2・63%で法定雇用率2・5%を上回る。知的、精神障害がある職員はほとんどが1年雇用（最大5年）の嘱託員として働いているが、正規職員の選肢がこれまではなかった。

福岡県、北九州市、熊本市などは19年度実施の正規職員採用試験から知的、精神障害者も対象としている。（坂本公司）

高木勝利の議会質問での実績や日頃の活動が新聞に掲載されました。

◎西日本新聞（令和2年3月13日）

◎公明新聞（令和2年4月9日）

◎公明新聞（令和2年6月6日）

◎公明新聞（令和2年6月22日）

## 公明新聞・令和2年4月9日

福岡市は、2020年度実施の市正規職員の採用試験で、身体障害者がい者に限定されていた障害者がい者の受験資格を精神障害がい者と知的障害がい者にも拡大する方針を示しました。

現在、障害がいのある市正規職員は174人、非正規の嘱託職員は124人です。しかし、これまで正規職員の受験資格は身体障害がい者に限られ、精神障害がい者と知的障害がい者は嘱託職員試験しか受

## 私の質問ノート

## 精神、知的障害がい者も採用



福岡市議

高木勝利

験できませんでした。私は17年夏、知的障害がいの子どもを持つ親から、「就職しても続かない。どうすれば続くようになるのか」と

の声を聞きました。同じ頃、精神障害がいの一つである高次脳機能障害を抱えながら、就労をめざして必死に訓練に励む男性の話を知り、就労の壁の高さを痛感しました。

障害がい者雇用の促進へ行政が模範となるためにも、私は同年10月の市議会決算特別委員会で、「市正規職員採用を精神、知的障害がい者にも拡大すべきだ」と提案。その後も議会と粘り強く主張を続け、今年3月に受験資格の見直しを訴えた結果、小野田勝則市長から、「20年度から精神、知的障害がい者も対象にする」との答弁を引き出すことができました。

今後、障害がい者が障がいの有無によって分け隔てられることなく、平等に社会参加できる共生社会の実現を推進していきます。

## 生活支援、消費喚起など

## 自治体独自の対策

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、さまざまな対応が迫られる中、自治体独自で対策を推進している各地の取り組みを紹介する。

視覚障がい者(福岡市)  
給付金案内チラシに音声

特別定額給付金の案内チラシについて話を聞く  
(右から)篠原、黒子、高木の各議員

## 新型コロナ

IS(日本視覚障がい情報)

ユニボイスとは、JAV

福岡市は、一律10万円の特別定額給付金の案内チラシに、音声で内容を読み上げる音声コード「ユニボイス」を記載した。これにより、視覚障がい者に同給付

普及支援協会が開発した2次元コード。スマートフォンで読み取り専用のアプリを開き、チラシ上のユニボイスを認識させれば、音声で流れて同給付金について解説してくれる。市の調査によると、同給付金の案内チラシにユニボイスを記載している自治体は全国でも少ないという。公明党の山口那津男代表は4月27日、視覚障がい者に配慮し、同給付金の案内に音声コードを活用するよう国会内で開かれた党参院

## 公明新聞・令和2年6月22日

## ▼福岡市

## 備蓄状況の確認

## 防災倉庫を視察

公明党福岡市議団(黒子秀男、黒子樹、黒子樹)は、このほど、同市博多区月隈にある「市埋蔵文化財センター」月隈



収蔵庫」で災害備蓄の状況を確認し、市防災・危機管理部の担当者から話を聞いた。同収蔵庫には、文化財を保管する倉庫と、物資を備

避難所で使う間仕切りなど災害物資を確認する党市議団のメンバーら

蓄する防災倉庫がある。今回、党市議団が視察した防災倉庫は市内最大規模で、災害時に国などから送られてくる物資の1次集積所にもなっている。

市内に備蓄する水(500パシ)27万本や18万食の非常食などのうち、約8割が同収蔵庫に、残りの2割が各公民館にあるという。ほかにも、簡易トイレや紙おむつなど避難所運営資材、消毒液やマスクなどの感染防止対策物資が収蔵庫に備蓄されている。

福岡県をはじめ、九州北部地域で近年、大雨災害が多発している。党市議団は、浸水時の物資の輸送体制や避難所での感染防止対策などを念入りに調査した。黒子樹は「梅雨の今の時期から対策が重要だ。市民が安心できるよう万全の備えをしていきたい」と語っていた。

## 高木勝利 “福岡市と早良区の発展へ全力”



- ◎生活環境委員会・委員長(道路下水道局・環境局・水道局・消防局・交通局)
- ◎少子・高齢化対策特別委員会
- ◎文化・スポーツ振興推進協議会
- ◎福岡地区水道企業団議会議員
- 公明党福岡県本部；幹事・党員学習委員長